

観光・まちづくり分野
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和5年度

千年の草原の継承と創造的活用総合特区

[指定：平成25年9月、認定：平成26年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.5+4.2)/2=4.4$

4.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	①草原管理面積 ②野焼き再開牧野数	99%	5
2	牛馬の放牧頭数	—	4
3	①観光入り込み総数 ②阿蘇地域の宿泊客数	—	4
4	あか牛肉料理認定店数	96%	4
5	草原体験利用者数	—	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 4 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 5 = 4.2$

4.2

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.2

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3+3+4.3)/3=3.4$

3.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.8

- ・草原の維持管理や再生に関連した企業研修はターゲットになり得ると考えられ、関係人口の獲得にもつながり得るため、企業研修の受入れを進めていくのは一案ではないか。
- ・自然コンテンツやその文化保護活動そのものが観光におけるSDGs的価値として一層高まることが期待されるが、例えば草原管理面積、あか牛肉料理認定店数が入れ込む客数などの各数値目標が地域への観光入込客数や宿泊客数とどのように関連しているのかを見極め、観光インフラ整備やコンテンツ開発には地域外の理解者・協力者を得ていくことが肝要。
- ・半導体工場の進出により、国際便の増加など観光にとっても誘客のための好材料が整いつつある。宿泊については「ビジネス目的」も増加要因として述べられているが、ビジネスで訪れた客に「ついで観光」をしてもらう、あるいは工場の立地要件である地下水をテーマにした観光体験の開発など、ターゲットを絞った取組は積極的に進めていってほしい。
- ・世界農業遺産とユネスコ世界ジオパークの認定、更には世界文化遺産登録に向けた取組や、半導体工場誘致を契機とした地域活性化など、地域独自の取組が進んでいる点が評価できる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.8

総合評価

Ⅰ、Ⅱ及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.4+3.4+3.8 \times 2) \div 4 = 3.9$

3.9

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。